

平成 25 年度
北信越ヤングオフィシャルキャンプ
報告書



HOKUSHINETSU
Young Official Camp
2013

主 催 北信越バスケットボール協会 審判委員会
主 管 長野県バスケットボール協会 審判委員会

平成 25 年度北信越ヤングオフィシャルキャンプ 実施要項

- 1 目 的 北信越ブロックの今後を担う審判員の養成は急務であり、次年度の北信越強化審判員選考前の日本公認審判員を対象に、上級審判員を目指すための資質向上を図る事を目的とする。若手審判員（20 歳代）については上級に導くステップとする。
- 2 主 催 北信越バスケットボール協会 審判委員会
- 3 主 管 長野県バスケットボール協会 審判委員会
- 4 期 日 平成 26 年 1 月 24 日(金)～26 日(日)
- 5 会 場 ホワイトリング（長野市真島町真島 2268 番地 1 Tel 026-283-7977）
南長野運動公園総合体育館（長野市篠ノ井東福寺 320 Tel 026-293-4048）
篠ノ井高等学校体育館（長野市篠ノ井布施高田 1161-2 Tel 026-292-0066）
- 6 講 師 北信越バスケットボール協会 川端 孝博 氏
西 憲幸 氏
大倉 守正 氏
中江 洋美 氏
- 7 参 加 者 北信越ブロック内公認審判員
- 8 日 程 平成 26 年 1 月 24 日(金)
15:30～ 集 合（ホワイトリング）
16:00～ 審判会議
北信越YOC開講式
座学研修
フィットネス

平成 26 年 1 月 25 日(土)
10:00～ 実技研修
19:00～ 懇親会

平成 26 年 1 月 26 日(日)
9:00～ 実技研修
終了後 北信越YOC閉講式（ホワイトリング）
- 9 大 会 名 第 45 回北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会
- 10 連絡責任者 長野県バスケットボール協会審判委員長 大井 明
携帯：090-7719-4803

平成 25 年度北信越ヤングオフィシャルキャンプ 参加者

| 県 名 | 氏 名 | 年 齢 |
|-----|-------|-----|
| 福井県 | 梅田 香 | 31 |
| 富山県 | 河辺 晃 | 30 |
| 福井県 | 渡辺 達朗 | 29 |
| 長野県 | 相澤 昌輝 | 28 |
| 石川県 | 礮野 峰 | 27 |
| 石川県 | 金城 美咲 | 27 |
| 長野県 | 田中 実佳 | 27 |
| 福井県 | 浮池 亮太 | 26 |
| 石川県 | 宇波 圭祐 | 25 |
| 長野県 | 榎本 麻衣 | 25 |
| 富山県 | 藤井 亮 | 25 |
| 石川県 | 河辺 真輝 | 24 |
| 長野県 | 三井 大希 | 24 |
| 新潟県 | 紺谷 智広 | 23 |
| 新潟県 | 多田 智哉 | 23 |
| 石川県 | 家接 桂 | 21 |

(以上 16 名 敬称略 年齢順)

開 講 式

<挨拶> 北信越ブロック長 川端 孝博 氏

H24年度の途中ではあるが、審判に関しては、この大会が次年度に向けての新たなスタートをきるものである。

ここには次年度 A 級を目指す各県の重点審判員とお集まりの YOC の受講生がいる。北信越 YOC を始めたきっかけは、各県 2 名の重点審判員として上がってくるまでに何年もの歳月がかかり、そこから A 級になるには更に年数がかかってしまうという・・・年を重ねてから上級に上がるという北信越の流れが非常に遅れていると感じた。そのような流れの中で、日本協会の若手育成とは別に、北信越として、もう少し早い段階からブロック大会に顔を出して、いろいろな経験を積んで、早い段階で上級を目指して欲しいという願いを込めて始めました。

ぜひ今回、北信越 YOC に集まっている皆さんには、各県の審判長や上級・重点審判員が集まっている中で、そういった方々のレフリングを参考にして、名前と顔を覚えていただきながら早い段階で重点審判員として上がれるように自己研鑽してほしい。

明日明後日のゲームを大切に、ぜひ上を目指してもらいたい。



<挨拶> 講師代表 大倉 守正 氏

北信越 YOC では、上級審判になるためにはどのような資質が必要なのかを考える機会としてほしい。

3日間の限られた時間だが、いつも川端ブロック長が言うように北信越は一つのチームですので、気軽に質問してほしい。

また、講師自身も質問しやすい雰囲気・環境づくりをしたい。



座 学 研 修

テーマ 「国際審判早期育成プロジェクトに参加して」 山崎 翔泰 氏 (新潟県)

目的1 国際審判になるために何が、どんなことが必要なのかを知る

研修① 【国際審判の道筋と役割】 小澤 勤 氏 (国際審判)より

- 国際審判への道筋及び条件
 - ①年齢制限：現在は 36 歳未満
 - ②AA 級資格が必要
 - ③英語力(会話、ルールテスト、語学テスト)
 - ④体力テスト(フィットネス)
 - ⑤技術(判定力、ゲームコントロール力、ゲームマネジメント力)
- 国際審判の役割
 - ①国内ゲーム……審判員として、常に精進しレベルアップを図る。
 - ②海外派遣 ……約 2 週間の派遣期間になることが多い。
⇒国内への対応が求められる。(仕事、家族、地元 etc.)
 - ③日本代表レフリー…実績を残すことが大事。日本全体の審判レベルが見られる。
 - ④世界選手権へのノミネート
- 一つ一つの積み重ねが大事
- ゲームを見て・感じて・考える⇒試合では自分を出す。
- 人として成長すること ⇒信頼されることへとつながる。
- 国際審判は厳しい世界 ⇒環境への順応力が必要(体調管理、食事、時差 etc.)



研修② 【語学研修・ルールテスト】 高城 邦弘 氏 (コミッショナー)より

- 2 グループに分かれての語学研修(英会話)
名前、仕事、家族、趣味、週末の過ごし方などを聞かれ、答えるもの。
- ルールテスト
Yes/No の選択だけでなく、「審判を始めたきっかけ」を書く英作文の問題もあった。
FIBA の試合のルールで出題。 (例)試合何分前にコートに立つ?など
- POINT
 - ①英会話では、沈黙は NG。わからなかったら質問したり、聞き返したりするとよい。
 - ②「インターハイ」は日本独自の言葉である。わかる言葉に言い換えて話すこと。
 - ③自分が説明できないことは、会話に出さないこと。説明出来るようにする事が大切。
 - ④共通の話題を持つ、探す。(趣味、好きなもの、家族 etc.)⇒話題がつながる。
 - ⑤コミュニケーション能力……目を見て話す。身振り手振りを使う。TPO を考える。
 - ⑥感情を表す言葉があるととても良い。(うれしい、悲しい、楽しい、つらい etc.)

講師講話 【講師】 Mr.Romualdas Brazauskas 氏 (ロマルダス ブラザスカス)より

- Good Position⇒Good Call メカニクスはとても大事。
- アングルが違えば見え方が違う⇒プレーに対して常に誠実にいること。
- ベテランと若手が一緒にゲームを見て情報を共有することが大切である。
- レフリーとコーチとの会話は、コーチの近くにいるレフリーが処置(会話)をする。コーチが何か話してくることにに対して準備をしておく。コーチとの会話は短く、クリアなものに。
- テクニカルファールは起こるもの。感情的にならず、(ルールに則して)冷静に取り上げる。



- タクティカルファウル⇒ゲームをわざと止めようとする戦術的ファウル(レフリーが見極める)
- フロッピングは、すぐに警告する。(ゆるしてはダメ)ゲームマネジメントにつながる。

目的2 現場で日本のトップの試合・トップのレフリーを見る～観戦研修・ディスカッション～

講師の指導から

【小澤 勤 氏】

- ・とにかくルールブックが大切。
- ・どんな人でもミスはある。試合後の反省を次のゲームに繋げることができる柔軟性を持つ。

【中嶽 希美子 氏】

- ・取り上げたものだけが判定ではない。それ以外には何百の判定が積み重なっている。
- ・ゲームでは、選手も流れも動く。レフリーはそれらを感じて決断をする。

【平 育雄 氏】

- ・ゲーム前のプレゲームカンファレンス、ゲーム中の会話⇒良いゲーム運営につながる。
……チームワークを作るために行う。ゲーム中に失敗しない、必ずできることを決める。
情報交換の場として活用する。
- ・ゲーム運営は初めからの小さな積み重ねがあるからできる。(ベンチの話や聞く、判定する、選手の話や聞く etc.)
- ・よい場所でファウルを取る。よい位置でファウルを取り上げない。 ⇒取捨選択ができるようになる
- ・レフリーは判定が命。そして、よい位置での判定が説得力となる。自分のエリアをきちんと吹くことが協力的である。
- ・一番最悪を考えておく。「対応する≠対応を考えておく」
(これには経験が必要)当然起こるからと考えておく。

【富田 陽子 氏】

- ・ゲームのレベルの高さに怖気づいてはいけない。自分が担当するという強い気持ちを持つ。
- ・表現力(プレゼンテーション)を高める。自分が判定したものへの責任を持つ。
- ・チャンスを与えられていることをもっと自覚してほしい。
⇒今ここにいる YOC 受講生も各県を代表して、チャンスをいただいてこの場にいる。

ディスカッションの内容から

- ショットに対してのスペースウォッチングの鋭さ、速さ、的確さ。
- 「Feel the Game」と「ゲーム運営力」の高さ
- 3人が一つのチームとなっていること、パートナーとの会話⇒3 パーソンも 2 パーソンも同じ
- アンスポーツマンライクファウルのケース⇒対応が迅速
……どんなときも選手をしっかり見ていなければならない。(コートから目を離さない)
- 外国人選手とのコミュニケーション(会話力、コミュニケーション能力)

学んだこと・大事にしたいこと

- 語学・英会話・ルールテスト・コミュニケーション能力・人間性・社会性・環境整備(家庭・職場)
- 判定・基準・ゲームコントロール・メカニクス・T.O を大切にす

これから……

- ルールの理解(日本のルールブックをよく理解する)・コミュニケーション能力を高める
- AA 級審判員になるために、とにかくコートに立ち経験すること。
どの試合も次のものにつながるもの。
- 一社会人として、一審判員として信頼されること。
- 「環境づくり」(家庭・職場・地元)⇒長いスパンでのプランを考える。
- 県内での自分の審判員としての位置⇒地元レフリーとしての活動と役割を忘れない。



実技研修 ～ミーティングの様子～

1月25日(土) A1
女子 足羽(福井) - 高岡商業(富山)

審判員 主審：磯野 峰 (石川県)
副審：榎本 麻衣 (長野県)

講師 大倉 守正 氏



1月25日(土) C1
女子 東海大三(長野) - 金沢(石川)

審判員 主審：梅田 香 (福井県)
副審：河辺 真輝 (石川県)

講師 中江 洋美 氏



1月25日(土) A2
男子 金沢市立工業(石川) - 長野吉田(長野)

審判員 主審：河辺 晃 (富山県)
副審：浮池 亮太 (福井県)

講師 川端 孝博 氏



1月25日(土) C2
男子 啓新(福井) - 富山商業(富山)

審判員 主審：相澤 昌輝 (長野県)
副審：三井 大希 (長野県)

講師 西 憲幸 氏



1月25日(土) B3
女子 長野吉田(長野) - 高岡商業(富山)

審判員 主審：金城 美咲 (石川県)
副審：多田 智哉 (新潟県)

講師 大倉 守正 氏



1月25日(土) D3
女子 新発田商業(新潟) - 金沢(石川)

審判員 主審：田中 実佳 (長野県)
副審：藤井 亮 (富山県)

講師 中江 洋美 氏



1月25日(土) B4
男子 長野吉田(長野) - 高岡商業(富山)

審判員 主審：宇波 圭祐 (石川県)
副審：家接 桂 (石川県)

講師 川端 孝博 氏



1月25日(土) D4
男子 金沢(石川) - 啓新(福井)

審判員 主審：渡辺 達朗 (福井県)
副審：紺谷 智広 (新潟県)

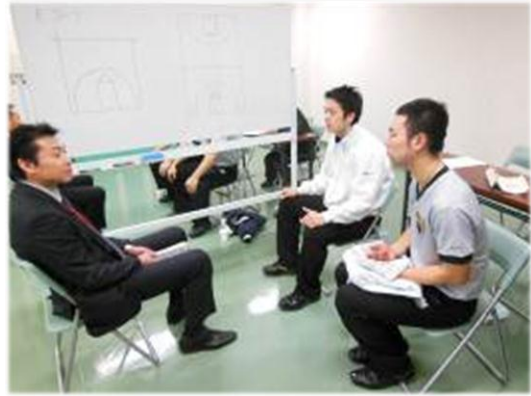
講師 西 憲幸 氏



1月26日(日) E1
男子 高岡商業(富山) - 十日町(新潟)

審判員 主審：渡辺 達朗 (福井県)
副審：相澤 昌輝 (長野県)

講師 川端 孝博 氏



1月26日(日) F1
男子 北陸学院(石川) - 金沢(石川)

審判員 主審：浮池 亮太 (福井県)
副審：多田 智哉 (新潟県)

講師 西 憲幸 氏



1月26日(日) G1
女子 長野吉田(長野) - 仁愛女子(福井)

審判員 主審：榎本 麻衣 (長野県)
副審：家接 桂 (石川県)

講師 中江 洋美 氏



1月26日(日) H1
女子 高岡第一(富山) - 金沢(石川)

審判員 主審：梅田 香 (福井県)
副審：田中 実佳 (長野県)

講師 大倉 守正 氏



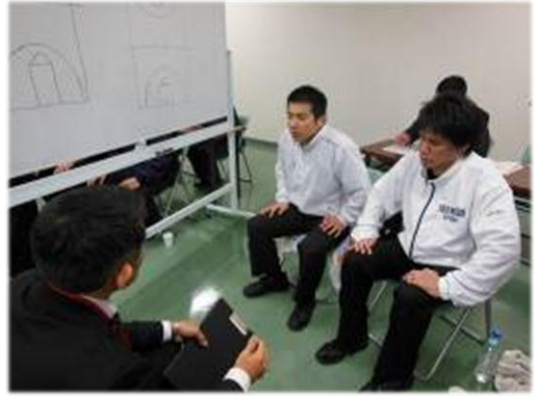
1月26日(日) E2

男子 長野吉田(長野) — 高岡第一(富山)

審判員 主審：河辺 晃 (富山県)

副審：宇波 圭祐 (石川県)

講師 西 憲幸氏



1月26日(日) F2

男子 福井商業(福井) — 啓新(福井)

審判員 主審：磯野 峰 (石川県)

副審：藤井 亮 (富山県)

講師 川端 孝博氏



1月26日(日) G2

女子 高岡商業(富山) — 松商学園(長野)

審判員 主審：金城 美咲 (石川県)

副審：紺谷 智広 (新潟県)

講師 中江 洋美氏



1月26日(日) H2

女子 市立長野(長野) — 新発田商業(新潟)

審判員 主審：三井 大希 (長野県)

副審：河辺 真輝 (石川県)

講師 大倉 守正氏



閉 講 式

<講評> 講師代表 大倉 守正 氏

金曜日からの開講式、講義などの中で“ベストポジション”や“積極的なコミュニケーション”という言葉がよくでてきたが、これらは上級審判になるために必要な資質の一つだと思います。

短いこの3日間ではありましたが、非常に良い機会になったのではないかと思います。今回の経験を踏まえて、今後、地元に戻って活かして欲しいと思います。特にみなさんは、県内においても若手の中心でもあると思うし、今後ブロックの若手の中心となっていくって欲しいという願いもあるので、そういったことも踏まえて自己研鑽を重ねて欲しい。

この北信越 YOC 実施にあたって、地元の長野県バスケットボール協会のみなさんには大変お世話になりました。地元の方々がいなければこういった研修会もできないので、そのことも踏まえて感謝をして、また次のステップに活かしてもらいたいと思います。

この後、男子の決勝戦もあるので、わからないことがあったら気軽に聞いて下さい。また皆さんの上達した姿を見れることを期待しています。



<おわりに> 北信越ブロック長 川端 孝博 氏

講習会を受けても、講義を聞いても、それだけで上達するわけではありません。

これを持ち帰ってどう自分の中に吸収してステップアップしていくかが大切であります。

ぜひこれからの北信越を支えるというような気持ちで取り組み、成長した姿を見せてほしいと思います。

